

第187回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2015年10～12月期実績、2016年1～3月期見通し)

**【概況】 信用保証利用企業の資金繰りは、横ばい状態である
～景況は一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている～**

- 【金融関連】**
- 資金繰りD. I. は、ほぼ横ばいで推移し、▲10.0となった。
 - 借入難易感D. I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲0.3となった。
 - 今期(15年10～12月)に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。
- 【保証利用】**
- 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。
 - 来期における保証利用要請D. I. は、やや低下し、過去最低の2.5となった。
 - ※ 保証利用要請D. I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】**
- 生産・売上げD. I. は、マイナス幅がやや拡大し、▲8.9となった。
 - 採算D. I. は、ほぼ横ばいで推移し、▲11.7となった。
-
- 【特別調査】 「セーフティネット保証5号(SN5号)の利用状況について」**
- 2014年度以降にSN5号を利用した企業は回答企業の約1割と、2012-13年度に比べて半減している。
 - SN5号を利用した理由は、「金融機関がSN5号の利用を勧めたため」が最多、次いで「金利が低いため」が続いている。一方で、SN5号を利用していない理由は、「借入の必要がなかったため」が最多となっており、「SN5号を利用しようとしたが、融資を受けられなかったため」は少数。

<調査の要領>

調査時点	2015年12月中旬
調査対象	9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 16,000企業を対象としており、 回答企業の約75%が従業員20人以下の小規模企業 となっています。
有効回答企業数	3,335企業
回答率	20.8%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:前田、宮本、角)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

(1) 資金繰り

・資金繰りD.I. は、ほぼ横ばいで推移し、▲10.0となった。

		2014/10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12	2016/1-3
資金繰りD.I.	実績	▲14.1	▲12.0	▲11.4	▲10.3	▲10.0	
	見通し	▲11.0	▲11.3	▲10.5	▲8.1	▲10.7	▲5.7

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

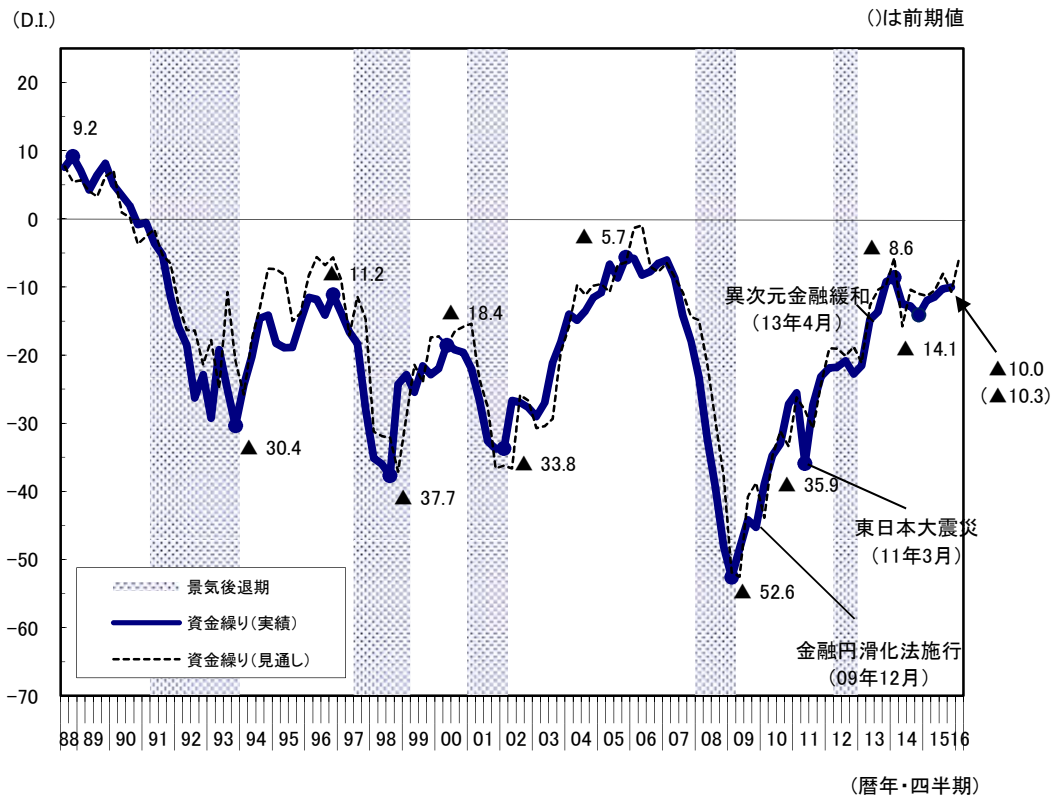
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲0.3となった。

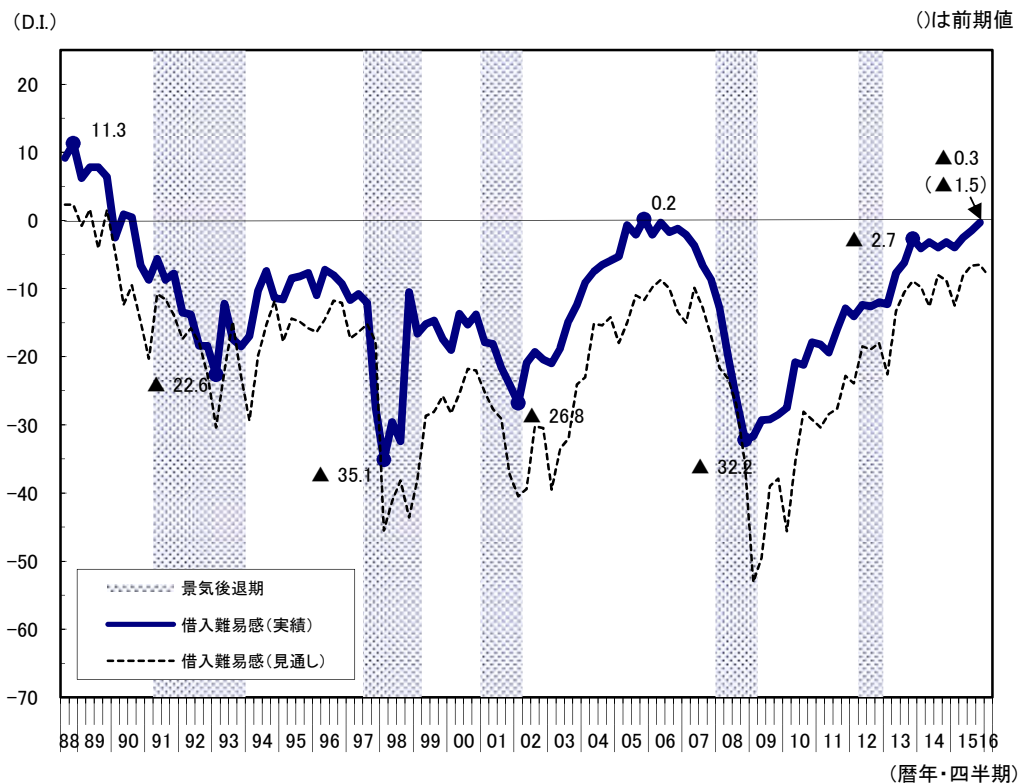
		2014/10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12	2016/1-3
借入難易感D.I.	実績	▲3.2	▲4.0	▲2.5	▲1.5	▲0.3	
	見通し	▲8.8	▲12.5	▲8.1	▲6.6	▲6.5	▲8.1

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD.I. (季節調整値)の推移



借入難易感D.I. の推移



(3) 借入れ状況

・今期(15年10~12月)に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。

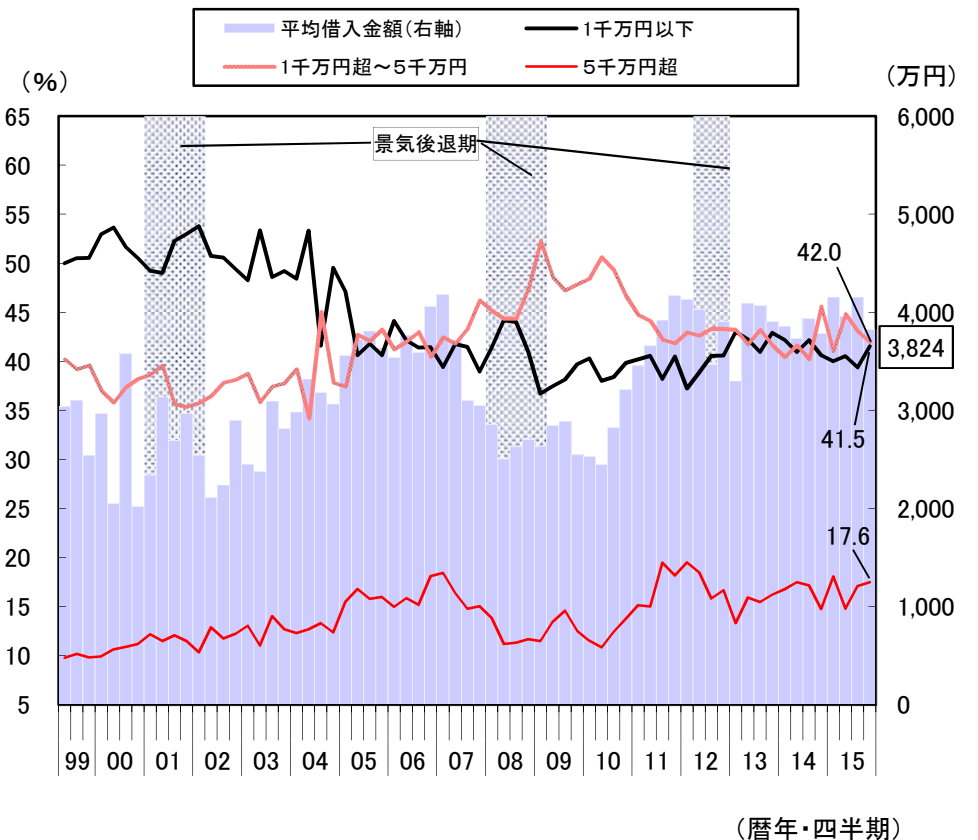
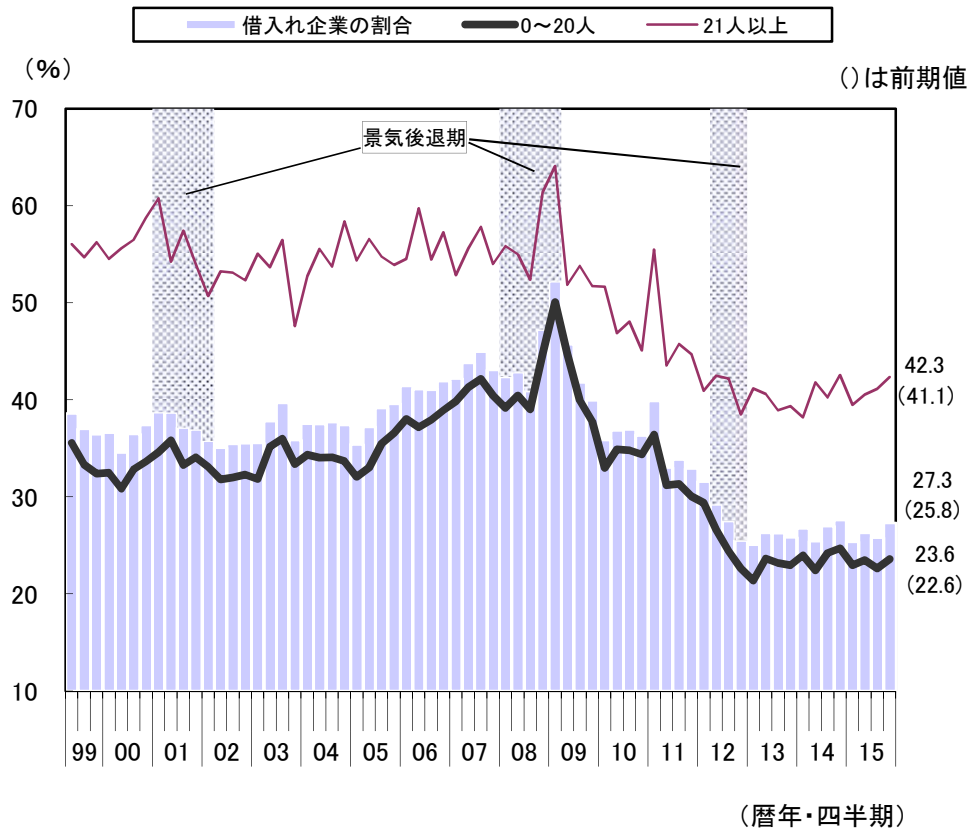
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」がやや増加、「1千万円超~5千万円」がやや減少した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2014/10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12
借入れ企業の割合	27.6	25.4	26.3	25.8	27.3
0~20人	24.7	22.9	23.5	22.6	23.6
21人以上	42.5	39.5	40.5	41.1	42.3

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

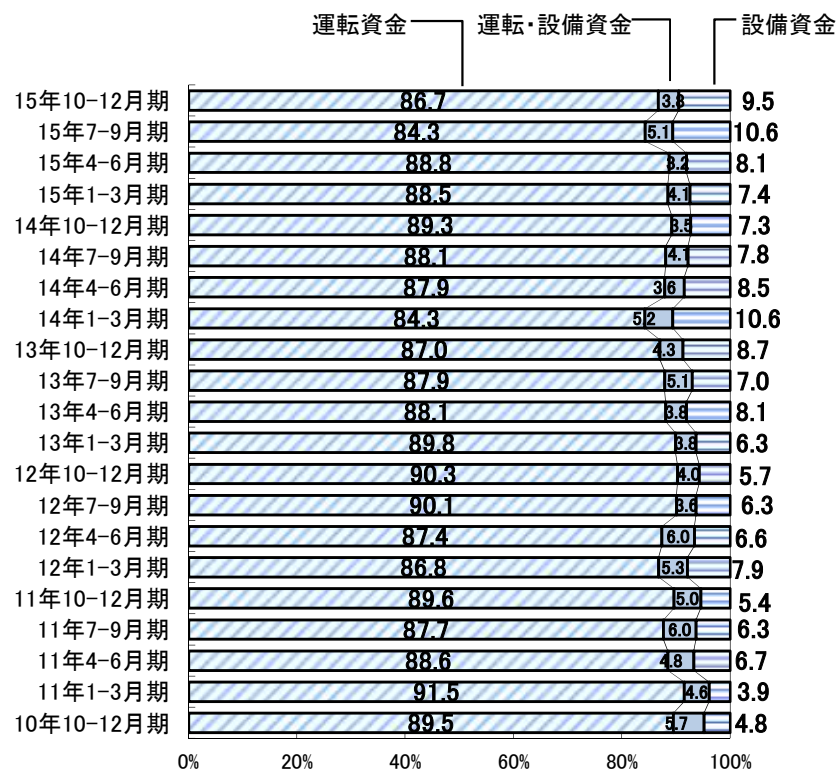
	2014/10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12
1千万円以下	40.6	40.0	40.5	39.4	41.5
1千万円超~5千万円	45.6	41.1	44.8	43.1	42.0
5千万円超	14.7	18.1	14.8	17.1	17.6



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

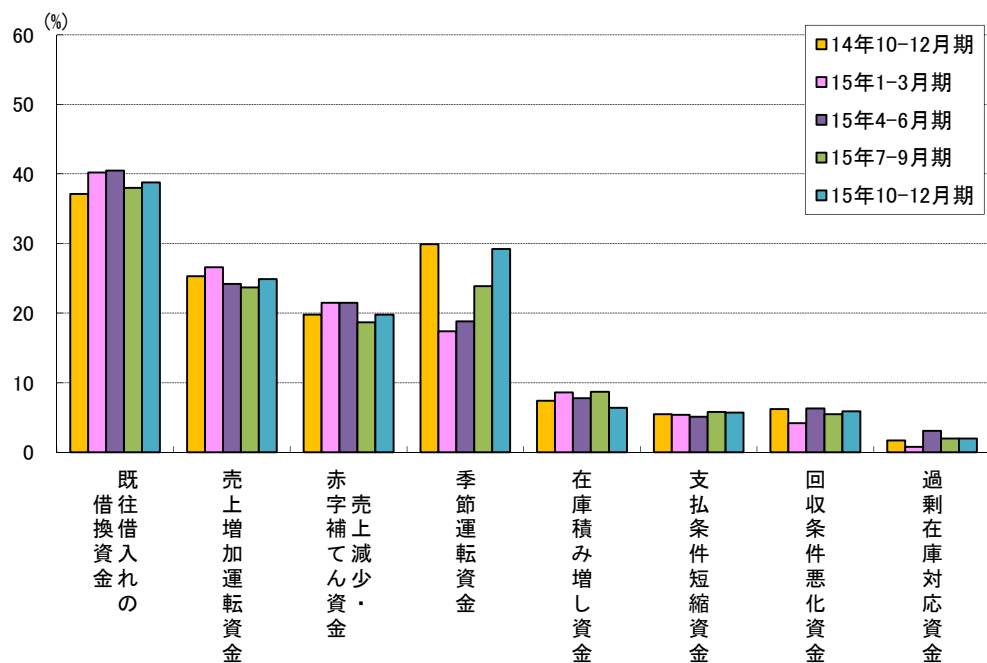
・設備資金はやや減少したものの、9.5%と引き続き高水準で推移している。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳

(原数値)		既往借入れの借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金
15年	10-12月期	38.8	24.9	19.8	29.2	6.4	5.7	5.9	2.0
	7-9月期	38.0	23.7	18.7	23.9	8.7	5.8	5.5	2.0
	4-6月期	40.5	24.2	21.5	18.8	7.8	5.1	6.3	3.1
	1-3月期	40.2	26.6	21.5	17.4	8.6	5.4	4.2	0.8
14年	10-12月期	37.1	25.3	19.8	29.9	7.4	5.5	6.2	1.7



(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。

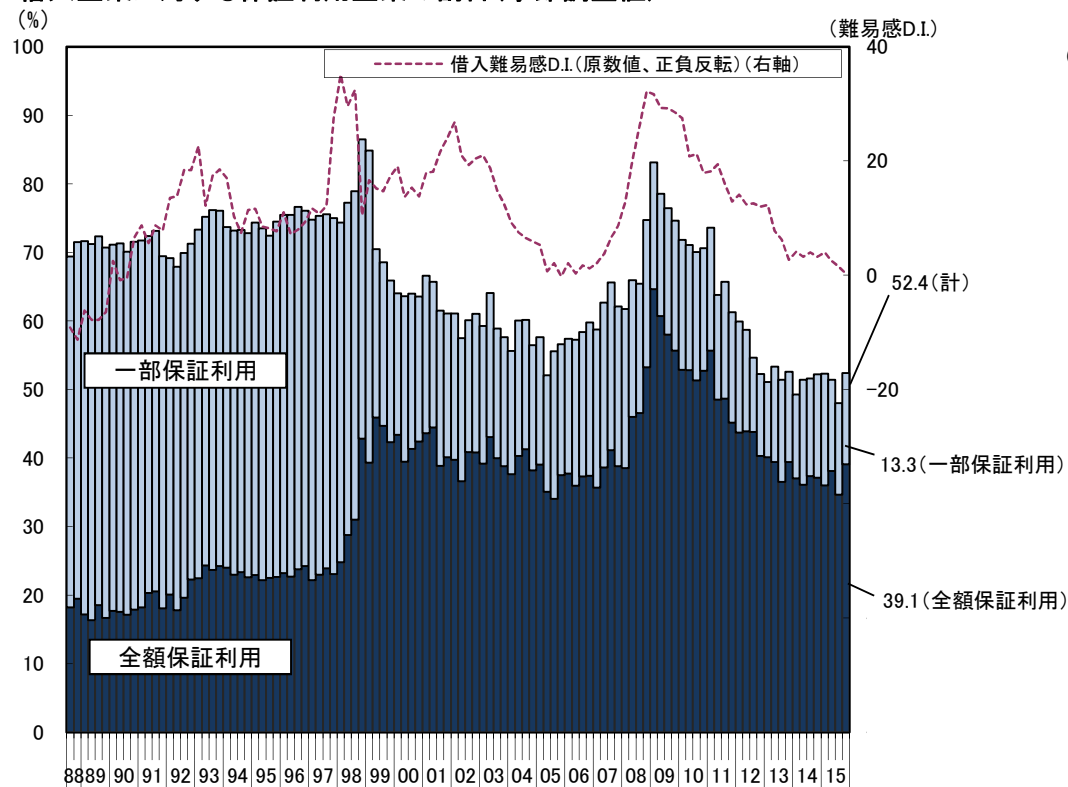
2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。利用割合をみると、保証を全額利用した企業が、やや増加した。

	2014/10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12
保証利用企業の割合	52.2	52.3	51.4	48.0	52.4
全額利用	37.1	36.0	38.1	34.6	39.1
一部利用	15.1	16.3	13.3	13.4	13.3
プロパーのみ利用企業の割合	47.8	47.7	48.6	52.0	47.6

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(暦年・四半期)

(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

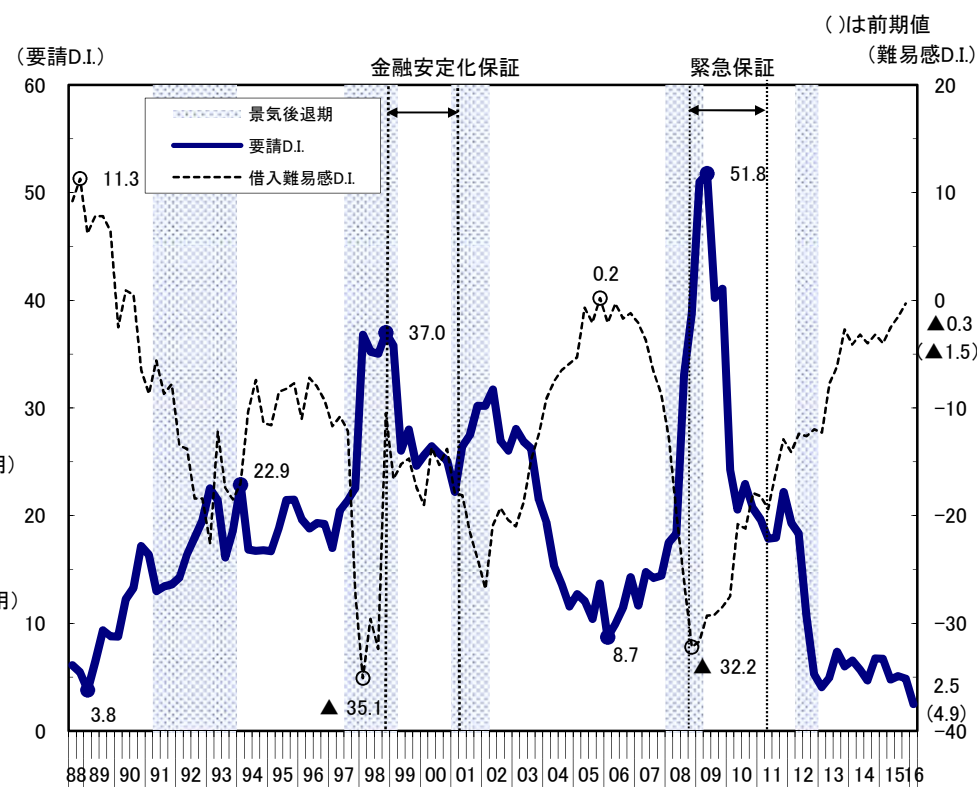
・来期(16年1~3月期)における保証利用要請D. I. は、やや低下し、過去最低の2.5となった。

	2014/10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12	2016/1-3
要請D.I. 見通し	6.8	6.7	4.8	5.1	4.9	2.5
借入難易感D.I. 実績	▲ 3.2	▲ 4.0	▲ 2.5	▲ 1.5	▲ 0.3	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。

2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D. I. (季節調整値)及び借入難易感D. I. の推移



(暦年・四半期)

(5) 生産・売上げ

・生産・売上げD.I. は、マイナス幅がやや拡大し、▲8.9となった。

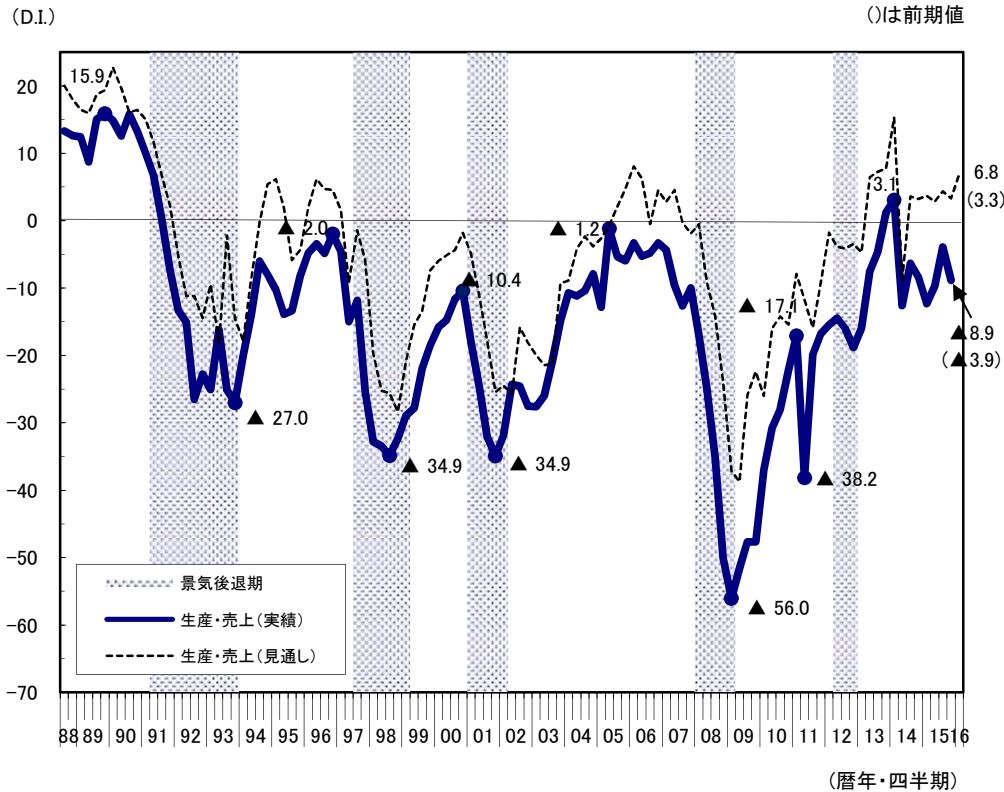
		2014/10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12	2016/1-3
生産・売上げD.I.	実績	▲8.4	▲12.3	▲9.7	▲3.9	▲8.9	
	見通し	3.2	3.7	2.8	4.4	3.3	6.8

(注) 前期比。生産・売上げD.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

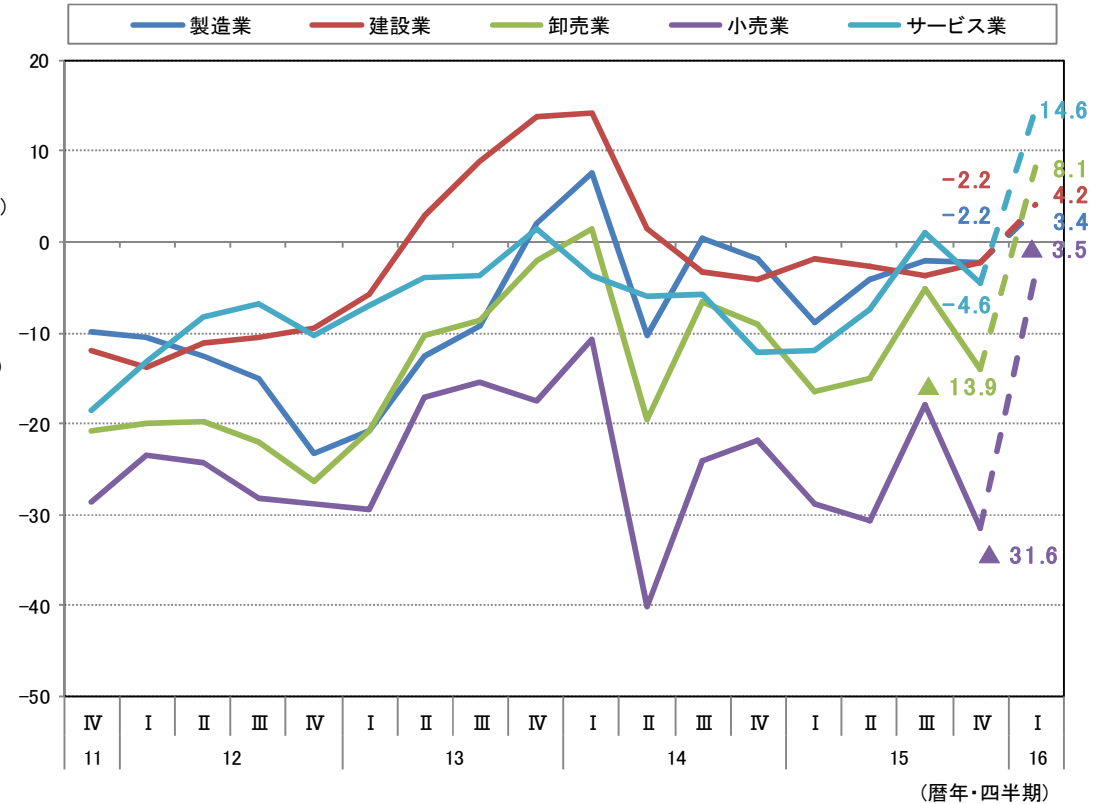
(参考)

・生産・売上げD.I.(業種別)は、サービス業がマイナスに転じ、小売業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

生産・売上げD.I. (季節調整値)の推移



業種別生産・売上げD.I. (季節調整値)の推移

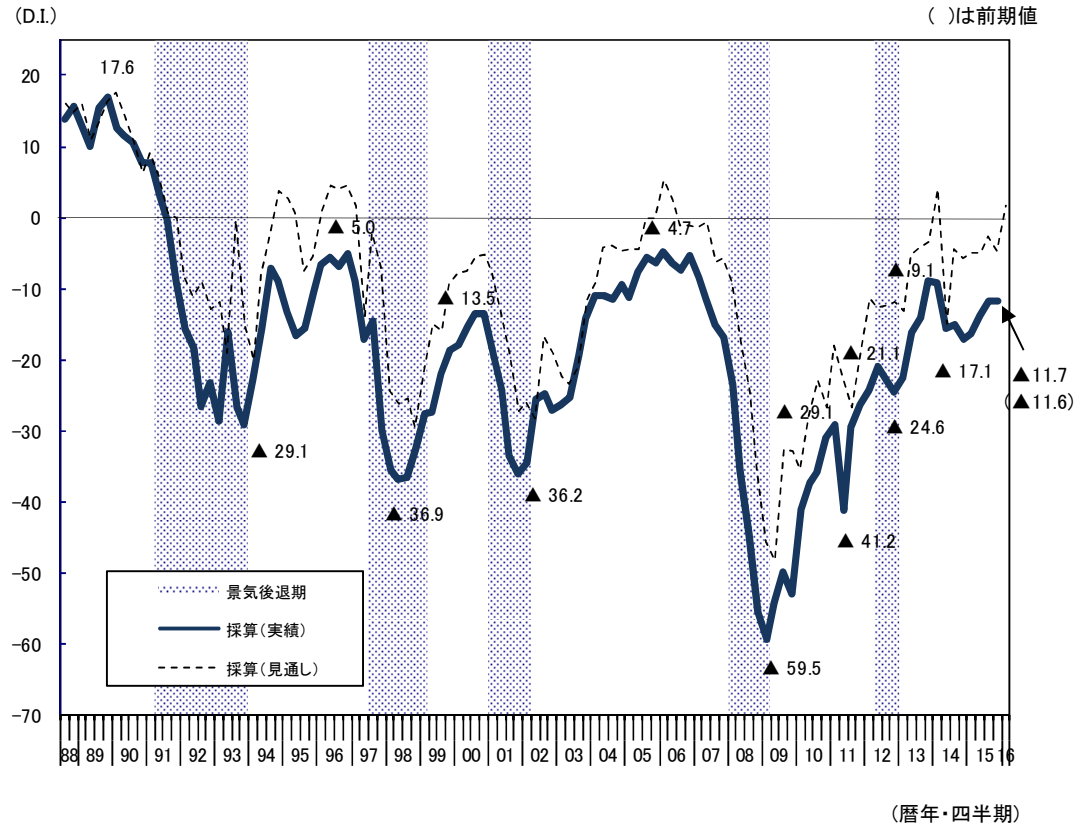


(6) 収益

・採算D.I. は、ほぼ横ばいで推移し、▲11.7となった。

		2014/10-12	2015/1-3	4-6	7-9	10-12	2016/1-3
採算D.I.	実績	▲17.1	▲16.4	▲13.7	▲11.6	▲11.7	
	見通し	▲5.8	▲5.0	▲4.9	▲2.7	▲4.6	1.6

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。



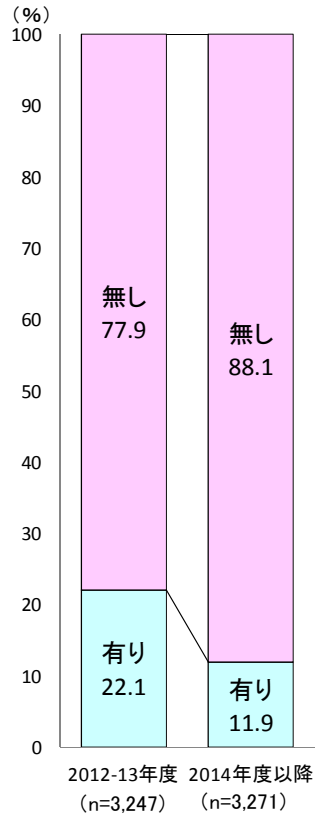
特別調査

1. セーフティネット保証5号（SN5号）の利用状況について

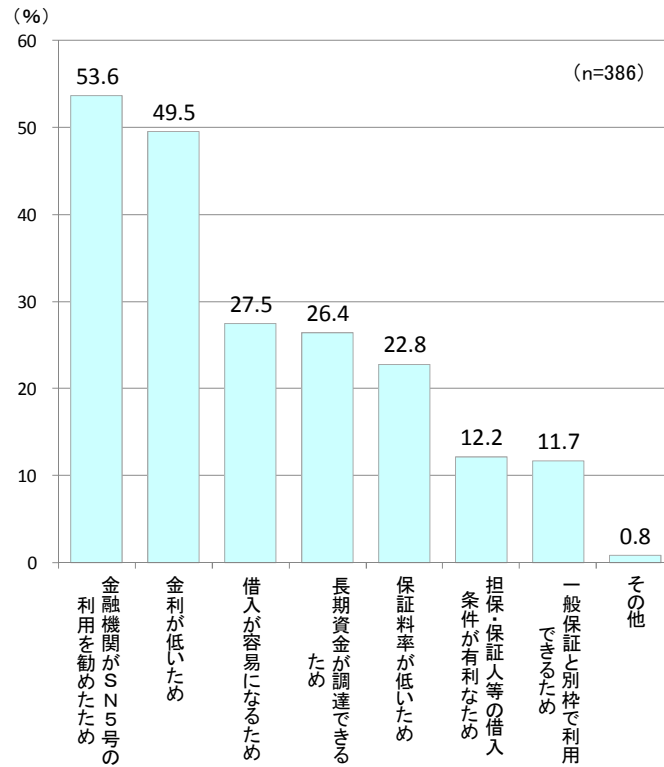
- ・ 2014年度以降にSN5号を利用した企業は回答企業の約1割と、2012-13年度に比べて半減している。
- ・ SN5号を利用した理由は、「金融機関がSN5号の利用を勧めたため」が最多、次いで「金利が低いため」が続いている。
- ・ SN5号を利用していない理由は、「借入の必要がなかったため」が最多、「SN5号を利用しようとしたが、融資を受けられなかったため」は少数にとどまっている。

※(注) SN5号: 業況の悪化している業種に属する中小企業者であって、最近3か月の売上が前年同期に比べて5%以上減少している等の認定基準(市区町村長が認定)を満たすものを対象としている。なお、対象業種は、2012-13年度は600-700業種程度、2014年度以降は150-300業種程度が指定されている。

(1) SN5号の利用有無

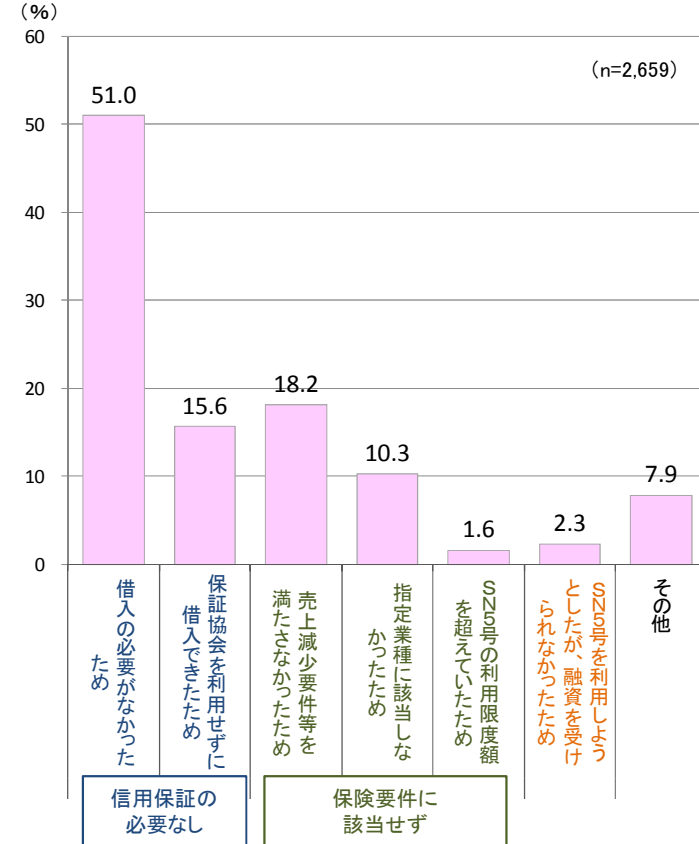


(2) 2014年度以降にSN5号を利用した理由



(注) (2)、(3)は複数回答のため、合計は100%を超える。

(3) 2014年度以降にSN5号を利用していない理由



信用保証の
必要なし

保険要件に
該当せず